


## やさしい技術講座


更新日2003年3月20日

### インスタントメッセージ(チャットソフトウェア)

現在の電話やメールは、連絡したい相手の状態(今、手が離せない状態なのか、良いことがあって話したい状態なのか等)がわかりません。そのため、電話した後で「今話していい?」となります。しかし将来的に携帯電話の中に、今回紹介するソフトウェアが入っていると、電話をかける前に相手の状態がわかるので、思いやりのあるコミュニケーションサービスができます。

 [インスタントメッセージって?](#)

 [現在の状況](#)


 [当社の取り組み](#)


 [注目した動き](#)

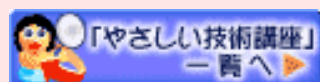
 [今の携帯電話がどう変わる?\(何ができるの?\)](#)

 [インスタントメッセージを取り入れた携帯電話の仕組み](#)

 [今後の課題](#)

 [小話 ~ 評価実験の話 ~](#)

 [関連ページへのリンク](#) (製品関連やニュースリリースへリンク)



ご利用にあたっての注意

「インスタントメッセージ」2003年～2005年当時の情報です。予告なしに更新、あるいは掲載を終了することがあります。あらかじめご了承ください。

## インスタントメッセージ

### インスタントメッセージって？

電話、メール、チャットなど、色々な方法のコミュニケーションがありますが、最近アメリカ等で「インスタントメッセージ」というものが流行っています。



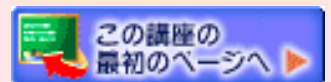
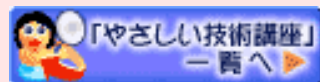
インスタントメッセージは、チャットソフトウェアの一種です。「やさしい技術講座」で紹介しているチャット「IRC」との大きな違いは、相手に話しかける前に、相手が今どういう状態



か一目でわかる  
(※)という事です。

※相手の状態というのは、電車の中や、運転中などで話せない状態なのか、もしくは、暇で誰かと話したい状態なのか、ということです。

イメージ図でIRC・WEBチャットと比較してみると、右図：IRC・WEBチャットは、シートの上に座っているグループの中にまず参加することになります。左図：インスタントメッセージは、相手に話しかける前に、相手が話せる状態かどうか分かり、そして1対1の会話をします（例：自分は話したいけど、相手は読書中で話かけて欲しくなさそうだから、用件はメールで出しておこう、など相手の状態で、コミュニケーション方法を適宜変更することができます）。



## インスタントメッセージ

### 現在の状況

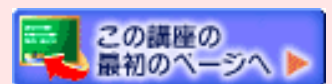
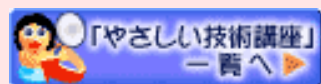


メッセージ交換ツールとして、日本ではIRC・WEBチャットが主流です。アメリカを中心に若い世代では、インスタントメッセージが主流で、世界中で約2億8千万人(2002年現在)が使っていると言われています。

現在、世界中の会社が色々なソフトを作っていますが、それらは互換性がありません。E-mailやCHOCOA(IRCソフトウェア)等は、プロトコル(コンピュータ同士が通信を行う為の約束事)が確立しているので、通信相手がどんな

なコンピュータやソフトウェアを使っていたとしても通信する事ができます。しかし、現在製品化されているインスタントメッセージのソフトウェアでは、同じ会社の同じソフト同士でないと、情報交換(状態+メッセージング)をする事ができません。

そこで、どんなソフトでも相互接続できるよう、世界標準を作る為、IETF(Internet Engineering Task Force)の「IMPP(Instant Messaging and Presence Protocol)標準化」という国際的なワーキンググループが1999年2月に発足しました。当社もそれに参加し、議長を務める(2000年9月にて任期終了)とともに、検討の中心メンバーとして、誰もが使えるよう、標準化を目指してきました。そして、2003年現在、検討はほぼ終了し、最終調整を行っているところで、近々標準化される予定です。



## インスタントメッセージ

### 注目した動き

インスタントメッセージの特徴点として、「話す前に相手の状態がわかり、そこから1対1の会話ができる」ことは、先にご説明した通りです(「[インスタントメッセージって?](#)」参照)。そこで当社はいつでもどこでも持ち歩き、相手と1対1で電話やメールなどのコミュニケーションができる携帯電話に着目しました。

インスタントメッセージも携帯電話も1対1という共通点があるよね。



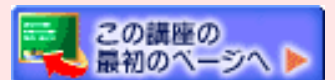
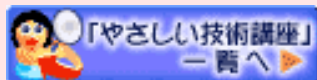
そうよね。それに、

- ・日本は携帯電話 先進国・・・その点を活かさない手はないわ!
- ・携帯電話は発展性が高い・・・これからもどんどん進歩するよね
- ・モバイル上で使える・・・って事は、持ち歩きに便利!

という点を取り入れたらどうかしら?

これらの特徴点を活かして、インスタントメッセージを携帯に取り入れたら、より便利で楽しく使える!というのが、当社の狙いです。  
そして、社会問題となっている携帯電話のマナーの解決策の一つとしても活用できると考えています。これによって携帯がどう変わるのか見てみましょう。

[携帯電話がどう変わるの?へ](#)



## インスタントメッセージ

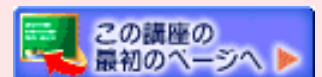
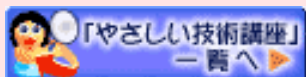
### 今の携帯がどうかわるの?何ができるようになるの?

インスタントメッセージが携帯電話で使えるようになると、色々な可能性が広がります。IRC・WEBチャットと違い、インスタントメッセージは特定の人を対象としますから、**通信相手が今現在どのような状態であるかがわかるという事は、重要なポイント**です。それによって、電話できる状況なら電話を、取り込み中ならメールなどで、といったように使い分けて、円滑にコミュニケーションが行える、というメリットがあります。



(その他の絵文字例: v(^ ^)v m(..)m \ (^ ^) / ~~~ w(° °)w (^ ^)ゞなど)

友達の状態表示を見て、その友達が「話せる状態」という事を確認してから通信すれば、「メールの返事がこないわ。電話も来ないし、どうしたのかしら?」といった心配やイライラが解消されます





## インスタントメッセージ

### インスタントメッセージを取り入れた携帯電話の仕組み

インスタントメッセージを携帯電話に取り入れると、通信相手が今現在どのような状態かわかるので大変便利です。しかし、全員に同じ「今はダメ、今はOK」といった情報が伝わってしまうと不都合な場合もあります。いろいろな人間関係がありますから、挨拶するだけで良い人もいれば、例え忙しくても連絡を受けたい大切な相手もいます。そういった実生活のことも考えて、富士通の開発スタッフは設計しています。その仕組みを紹介しましょう。

#### ～初期設定～

IMのサーバは私書箱のようなものです。自分の私書箱を設定します。誰の情報を見たいか、また相手も見せて良いという設定をします。例えば**通子さん** - **M美ちゃん**、**通子さん** - **I太郎君**、**M美ちゃん** **I太郎君**という設定関係ができあがっているとします。このような、誰と誰が情報を見せ合う事を許可しているか、という事はサーバが管理します。



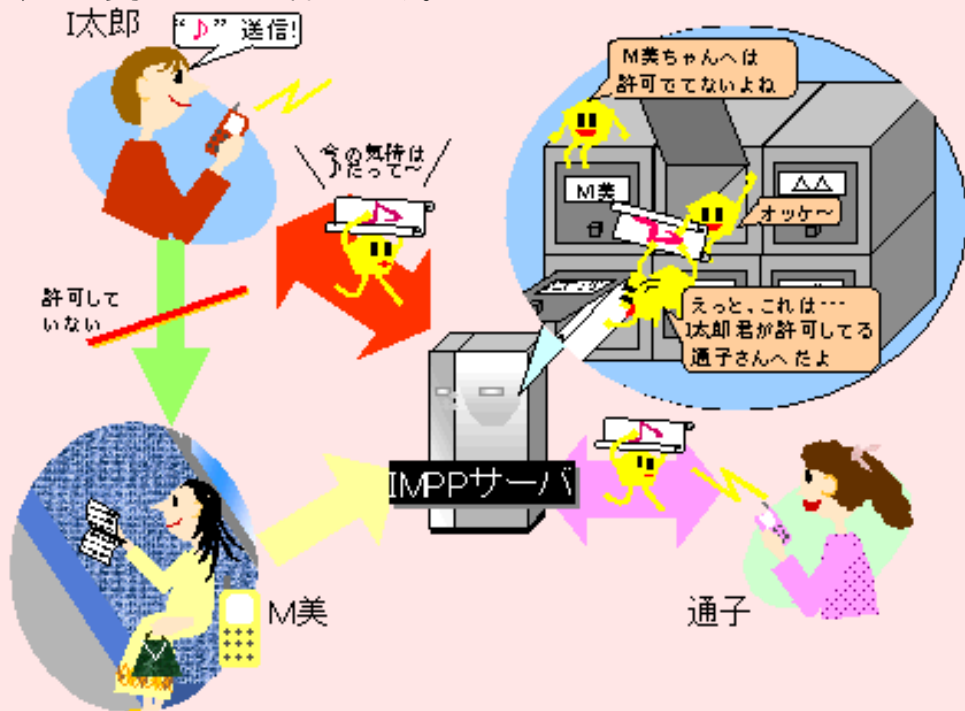
#### ～発信～

みんなとつながっている**通子さん**が情報を発信すると、**M美ちゃん**、**I太郎君**に情報が伝わります。しかし、情報の公開を制限している**I太郎君**が「 」という情報を送信すると・・・

#### ～受信～

**I太郎君**のメッセージを誰に届けるのかサーバが検索して、登録してある**通子さん**を探し出し、「 」という情報を送信します。**通子さん**は**I太郎君**の「 」という情報を見て、「何かいいことがあったんだな、電話してみよっと!」という具合になります。

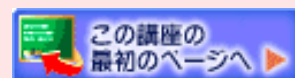
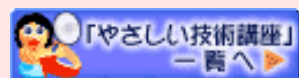
一方、登録されていない**M美さん**には**I太郎君**の「 」情報は伝わりません。



#### ～まとめ～

“人によって見せる情報を変えることができます”

使う人のプライバシーが重要と考え、情報を見せていい人は誰か、誰の情報が見たいか、という事を最初の初期設定後はサーバが判断・管理し、情報が送受信されます。また、人だけでなく、お店や機器、情報サイトなどの状態への適用といった様々な応用が期待されます。



## インスタントメッセージ

### 今後の課題

インスタントメッセージを携帯電話で使う上では、いくつかの課題が残っています。

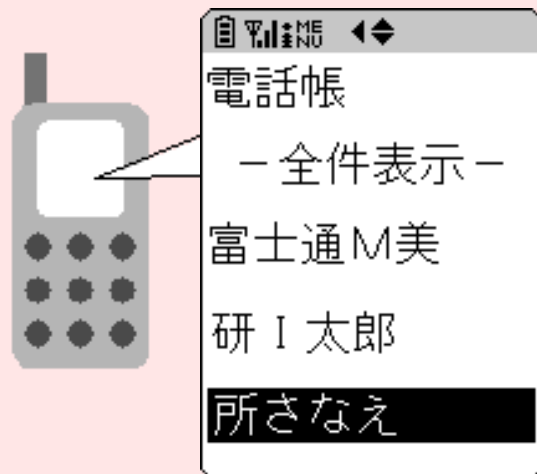
《課題》

1) 「圏外の為通信不可能」という情報は、すでに圏外なので 受発信できない



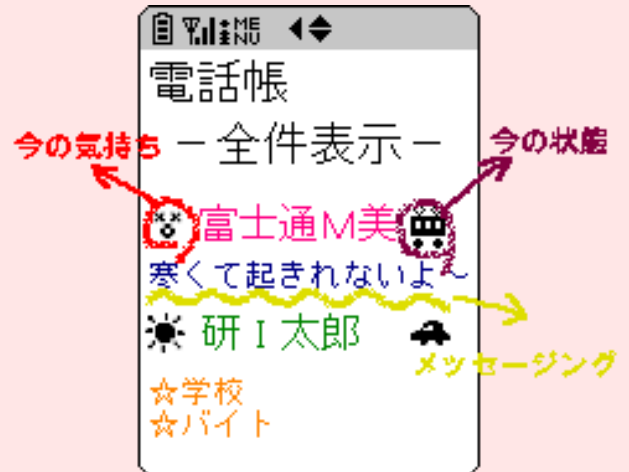
2) 携帯電話の電話帳とインスタントメッセージは別の画面なので、将来は一緒にしてもっと便利に使いやすく！

現在の携帯電話電話帳の画面

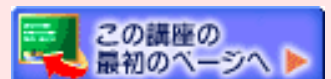
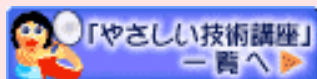


→  
現在の携帯電話の画面にインスタントメッセージ機能を追加してもっと使い易くなると!?

将来のインスタントメッセージの画面



これらの課題を解決できるよう、さらに開発中です。これによって携帯電話の文化も進化するかもしれませんね!



## インスタントメッセージ

### 小話～評価実験の話～

インスタントメッセージの評価実験を行いました。それは女子大生にインスタントメッセージを登録した携帯電話を3ヶ月間、使ってもらうというものです。実際のライフスタイルの中に、どんな風に溶け込むか、とても楽しみな実験でした。



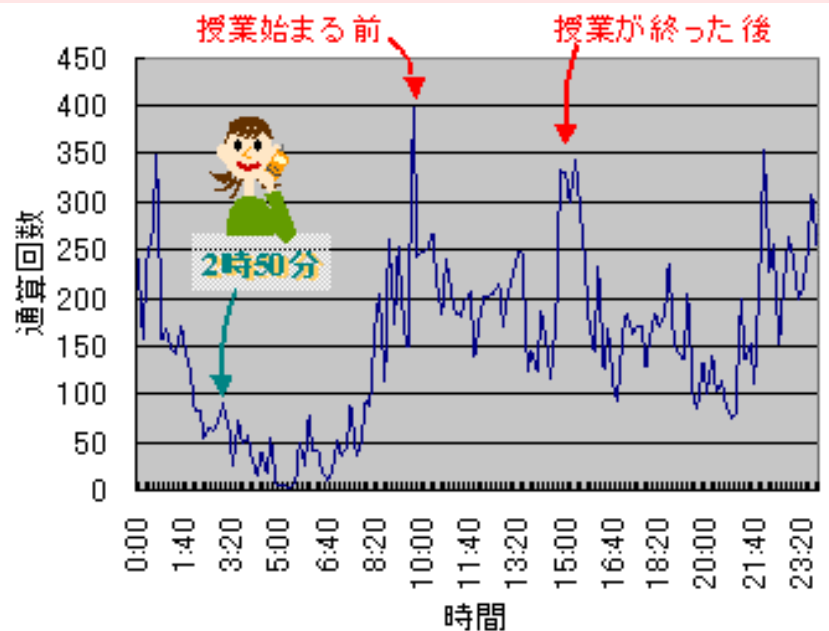
実験後、次のことがわかりました!

- 1) アクセス時間に4つのポイントがある!!
  - ・朝（通学時）
  - ・午後（学校終了時）
  - ・夜（帰宅/家）
  - ・深夜（寝る前）

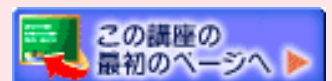
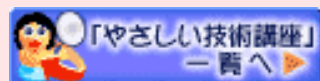
授業が始まる直前の10時と終わった直後の15時に使用のピーク

- 2) インスタントメッセージにアクセスする回数
  - ・3～6回/1人1日の平均アクセス数

2ヶ月試行通算行動の24時間分布



実験を開始して慣れてきたころ、AさんはBさんの夜中のメールで起こされることが多かったのです。記録をみると、Aさんは規則正しい生活で夜は使わないようにしていましたが、一方、Bさんが最も使っているのは深夜の2時50分。そこで、みんなに「2時50分の女」と呼ばれるようになりました。「一人一人の使い方を見ると、睡眠診断や睡眠アドバイスができるのでは?」という提案もありました。





[ホーム](#) | [ニュース](#) | [研究開発の取り組み](#) | [会社概要](#) | [採用](#) | [お問い合わせ](#)

> [研究開発の取り組み](#) > [やさしい技術講座](#) > [インスタントメッセージ](#) > [関連ページへのリンク](#)

## インスタントメッセージ

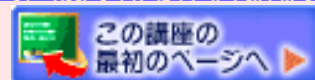
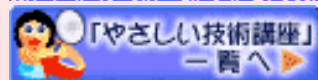
### 関連ページへのリンク



[携帯電話における思いやりコミュニケーションを可能とするサービスを開発](#) 2000年11月30日



[利用者の状況に応じたプッシュ型の情報配信を実現するソフトウェア「FLAIRINC\(フレアリンク\)」販売開始](#)  
2002年12月2日



[著作権とリンクについて](#) | [個人情報保護ポリシー](#) | [関連サイト](#)